



龍江の里

学校教育目標

ぼくたちが育つ龍江 これからもずっとふるさと

子どもはすごい。

龍江小学校では職員室前廊下の掃除を低学年児童が担ってくれています。ある日私は、一緒に床拭きをさせてもらいました。この場所の掃除は一人の場合には横へ横へと自分のペースで拭いていけるのですが、いつもはいない人が急に手伝いに入ると一つ飛ばしで拭いていかなければなりません。つまり、自分の都合では進められなくなります。

あるところまで進んできた時、私が自分の拭く幅を決めるのに、「このぐらい拭けるかな？…いや、ちょっと無理し過ぎかな？」と迷ってから「ここ！」と判断する場面がありました。それはほんの数秒のことだったのですが、その子は立ったまま「待って」いてくれました。そしてその、私のラインが決まったとたん、さっと膝をつき、自分の拭く範囲を見定め、手際よく拭き始めたのです。迷っている私のことがおかしかったのか、にこーっと笑いながら。



「賢い…」私は思わずつぶやいてしまいました。この子には「突然手伝いに入る人を受け入れる力」があり、「相手が何をしているのかを読み取る力＝想像力」や「相手の都合に合わせて自分の都合は横に置く力＝協同力」もある。こういう子どもの持っている力のすごさに、一緒に何かを行うことで私は気づかされるのです。でもこの子は自分の力を全く誇示しませんし派手な主張もしません。

もう一人の高学年児童です。ある日ある6年生が掃除分担の見落としがちなところに気づいてきれいにしてくれていました。しかしそこは思った以上の汚れで、自分が思ったよりやることが多くなりすぎてしまい、終わりの放送までに終わらせることができませんでした。反省会の場所にはすでに1年生が集合して待っています。この児童は、待たせては悪い、というふうにとにかく急いで片付け、1年生のところに駆けつけ、急いで反省会の司会を進めて会を終わらせました。でもここからさらに、反省会後にはバケツの水捨てるのがあります。1年生の仕事です。この場面で6年生児童は急いでバケツを片付ける1年生の後ろに「ただついていって」、最後の最後まで「見守り見届けて」いました。自分でやってしまえばきっともっと早く終わるこの仕事に、こんなふうにつきあってくれたのです。この学校はこんな優しさや気遣いにあふれています。



この児童は、「自分が待たせてしまったから遅くなった1年生を最後まで見届けなくては」と思ったのでしょうか？それとも、待たせた待たせてないとか、年上年下は関係なく、いつも相手に対してこのような姿勢なののでしょうか？



いずれにせよこの子のこの姿も、決して目立つ動きではなく派手さはありません。本人もあくまでも静かに黙って行動しているだけです。この子も床ふきの低学年児童と同じく「相手はどうなんだろう？」と察する力を持っています。この力はとても繊細な力です。そして手に入れるのがとても難しい、人間力だと感じます。

今回は最近の二つの出来事について書きましたが、この他にも、このようなことは学校のあらゆるところに毎日見られる出来事なのでしょう。ご家庭で身につけた大切なことを子ども達は学校で自然に行います。しかし私たち教職員にこのことに気づく力がなければ表に出ることはなく流れていってしまうものです。非常に見えにくいこのような力を私たちが大切に受け取り、価値づけをし、また子ども達一人一人に返していくことができるよう、2学期も「子ども達を見るまなざし」を鍛えてまいります。引き続き、保護者の皆さまからたくさんのことを教えていただきたいと思います。

すべての子どもにとって、学校が居心地の良い場所に



このように願って職員一同、この1学期の学校運営を進めてまいりましたが、子ども達はそれぞれのご家庭で学校のことをどのように話していたのでしょうか？友達とケンカした、先生に怒られた、自分の思い通りにいかなかった…学校は必ずしもいつもいつも愉快的

気持ちでいられる場所ではありませんし、人との関わりの中で生じる日々の「様々な出来事」から、良いも悪いも含めて

「様々な気持ち」を体験する場でもあります。しかしながら最終的に子ども達一人一人にとって「学校は確かに自分が成長しているぞ」と感じられる「行きたいと思える」場所であるべきでしょう。今年度が始まって3か

月間、私たちは「全職員で全児童を見る」ことを合言葉にして注意深く児童を見てきましたが、どうしても見えないことや気づかないことも多くあります。

長い夏休みに入ります。1学期の気がかりやお気づきのこと、ご心配やご不安はどのような小さなことでも学校までご連絡ください。2学期の子ども達の学校生活を気持ちよくスタートできるように、もしもまだお伝えいただいていないことがあれば遠慮なく教えていただければと思います。いただいたその声を大切にしながら学校運営を進めてまいりたい、そう思っております。

